瑞巌寺総門公衆トイレ

TOTO

外観

瑞巌寺総門と松島観光ガイド事務所の間にあり、境内拝観時間外も公衆トイレとして開放されている。

女性トイレ

すべてのブースにL型手すりとベビーチェアを設置し、さまざまな使用者に配慮をしている。大便器は連続洗浄が可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を選定し、混雑緩和を図っている。

男性トイレ

手洗器には、衛生面に配慮したノンタッチタイプの自動水栓を採用。小便器は床の清掃性に優れた低リップタイプの壁掛小便器。大便器ブース内にはL型手すりとベビーチェアを設置している。

多機能トイレ

各器具のレイアウトが設計済みのコンパクト多機能トイレパック。器具の足元に空間が確保されているので、使用者がアプローチしやすく、床面の清掃がしやすい点が選定のポイントとなった。

多機能トイレ

お子様連れに配慮して、着替えができるフィッティングボードやベビーシートを完備。寒冷地のため、壁面にはヒーターも設置している。

建築概要・水まわりの特長

名　　称	瑞巌寺総門公衆トイレ
所 在 地	宮城県宮城郡松島町松島字町内地内
施　　主	松島町
設　　計	株式会社群建築設計事務所
施　　工	株式会社川村エム店
竣工年月	2017年7月

<トイレの特長>

日本三景の松島の中心に位置し、国内外の観光客が多く訪れる国宝・重要文化財の瑞巌寺は、平安時代に慈覚大師円仁が平泉の毛越寺と中尊寺などと共に開いた古刹。江戸時代の初めに伊達政宗が桃山文化の粋を集めた伽藍を再興し、伊達家の菩提寺となった。また、松尾芭蕉の「奥の細道」に瑞巌寺参詣が記されている。寺は平成30年まで平成の大修理が行われている。松島町は、その総門横にある築45年以上の公衆トイレを建替え。以前は和式便器のみの設置で薄暗いトイレだったが、現在は大便器をすべて洋式便器とし、多機能トイレを新設。安心して利用できるトイレになった。

2017.09 作成　無断複製・転載禁止　(C) TOTO. LTD. 2013 All Rights Reserved 24049